



30周年記念「熊本から始まる電気バスが未来をひらく懇談会」

「熊本から始まる電気バス」と 「自転車」がひらく未来を語ろう!

アースウィークくまもとは1990年のスタート時から地球温暖化防止のために「自転車・バス・電車に乗ろう!」と訴え、低炭素のまちづくりに取り組んできました。

2016年11月に、世界196カ国が採択した「パリ協定」が発効され、日本も今世紀末までに脱炭素を実現することが必須となっています。熊本県では交通部門からの温室効果ガス排出量が2割近くを占めています。

アースウィークくまもとが30周年を迎える今年、未来を見据えて、脱炭素社会、持続可能な社会の課題でもある交通とまちのあり方を語り合います。



【日時】

2019年

4月22日(月)

18時半～20時半

【会場】

熊本市役所14階ホール

【コーディネーター】

坂本正

(アースウィークくまもと実行委員長)

- (1) 熊本から始まる電気バスが未来をひらく～第2章～
松田 俊郎さん(熊本大学大学院 先端科学研究所 准教授)
- (2) 低炭素社会の実現に向けた県の取組について(仮題)
金丸 政治さん(熊本県環境立県推進課課長補佐)
- (3) 持続可能なまちづくりに向けて
榊田 一郎さん(熊本市環境政策課課長)
- (4) バス会社の期待と描く夢
森 敬輔さん(九州産交バス代表取締役社長)
- (5) 自転車が安全に走れる低炭素のまち
河島 幸典さん(熊本市自転車二輪車商共同組合)
- (6) 僕たちがつくる熊本の未来(高校生もしくは若者)

主催：アースウィークくまもと2019実行委員会

共催：熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議

参加費無料

申込み
問合せ

NP0法人くまもと未来ネット

096-362-3776(担当：原)